

株式会社 北前館

決算書類

第 34 期

自 令和 6 年 10 月 1 日  
至 令和 7 年 9 月 30 日

# 決算等の状況の報告

株式会社 北 前 館

## 株式会社北前館 第34期営業報告

### 1 事業の概要と成果

今期は、梅雨明けが早く7月は前期を上回る売上でしたが、盆前に天候不良が続き8月の売上は前期を大きく下回ったことから、年間総売上額は52,529千円、前期対比で99.7%となりました。

温泉部門は、露天風呂からレジオネラ属菌が検出され、9月12日から期末まで休業したこともあり、売上額は18,778千円、前期対比91.2%にとどまりました。

特産品部門は、週2回の農産物販売が好評で定着してきましたが、入浴客の減少もあり売上額が伸びず7,526千円、前期対比96.4%でした。

駐車場部門は、期間を海開きの日から8月24日まで営業しました。7月は好調でしたが8月が伸び悩み、売上額は10,026千円、前期対比86.7%にとどまりました。

アクティビティ部門では、新たな事業として海上アスレチックを7,645千円で購入し、これまでラグーンを運営されてきた但馬東洋珈琲株式会社に貸し付けをし、賃貸料として3,047千円収入しました。売上額はジオカヌーを含め4,233千円、前期対比327.5%と大幅に増加しました。

レストラン部門は、7月と8月の2カ月間、地元のカフェクターに営業を委託しました。多くの利用者で賑わい、売上額は1,025千円、前期対比173.3%となりました。

今期の総売上額は52,529千円で前期対比99.7%でしたがレジオネラ属菌対策費用などで経常損失は656千円となり、税引き後の当期純損失は867千円となりました。

今後とも更なる経営改善及び利便性向上に向けて努めて参りますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげまして、第34期の営業報告とさせていただきます。

## 2 売上状況

(単位：千円)

部 門	温 泉	特産品店	業務受託	駐車場	アクティビティ	その他	合 計
売上高	18,778	7,526	9,671	10,026	4,233	2,295	52,529

## 3 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円、一株当たり当期利益のみ円)

区 分	第 30 期 令和 3 年 9 月	第 31 期 令和 4 年 9 月	第 32 期 令和 5 年 9 月	第 33 期 令和 6 年 9 月	第 34 期 令和 7 年 9 月
売 上 高	40,370	47,253	49,834	52,663	52,529
経 常 利 益	△2,433	786	1,352	646	△656
当 期 利 益	△2,642	575	1,141	436	△867
一株当たり当期利益	△5,285	1,151	2,283	872	△1,734
総 資 産	62,773	62,022	39,572	45,511	37,992
純 資 産	△20,784	△20,209	△19,067	△18,631	△19,498

## 4 会社概要

- (1) 商 号 株式会社北前館
- (2) 本 店 兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12
- (3) 成立年月日 平成 3 年 10 月 7 日
- (4) 事 業
- ア 温泉浴場施設の管理運営に関する事業
  - イ 特産品の開発及び加工並びに販売に関する事業
  - ウ 公共施設の維持管理に関する事業
  - エ 駐車場の管理運営に関する事業
  - オ 飲食物、日用品等の販売に関する事業
  - カ 温泉の配湯に関する事業
  - キ 公共的団体の事務局に関する事業
  - ク 山陰海岸ジオパークのガイドに関する事業
  - ケ 前各号に付帯又は関連する一切の事業
- (5) 発行株式
- ア 発行済株式の総数 500 株
  - イ 発行価格 1 株当たり 50,000 円
  - ウ 当期末株主数 129 人
- (6) 資本金の額 2,500 万円

## 5 社 員

(単位：人)

区 分	社 員	パート・アルバイト	合 計
前期末 令和6年9月30日	3	3	6
当期末 令和7年9月30日	3	3	6
増 減	0	0	0

## 6 取締役及び監査役

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役	太田垣 健 作	
取 締 役	宮 嶋 俊 夫	
取 締 役	岩 井 美 晴	
取 締 役	濱 松 淳	
取 締 役	藤 原 誠	
取 締 役	福 井 正 幸	
監 査 役	服 部 恵 山	

# 決 算 報 告 書

第 34 期

自 令和 6年10月1日

至 令和 7年9月30日

株式会社 北前館  
兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12

## 貸借対照表

株式会社 北前館

令和7年9月30日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
			円
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	(26,168,344)	流動負債	(12,602,918)
現金・預金	24,611,084	買掛金	171,002
売掛金	653,290	1年以内返済長期借入金	6,048,000
棚卸資産	789,560	未払金	3,361,323
前払費用	121,450	リース未払金	2,068,440
仮払金	25,257	未払法人税等	211,000
貸倒引当金	△32,297	未払消費税等	588,000
		預り金	155,153
固定資産	(11,824,052)		
有形固定資産	(11,608,285)	固定負債	44,888,000
建物	1,714,317	長期借入金	
構築物	14,315		
工具・器具・備品	7,392,835	負債の部計	57,490,918
車両運搬具	1		
一括償却資産	418,377	(純資産の部)	
リース資産	2,068,440	株主資本	(△19,498,522)
無形固定資産	(202,767)	資本金	25,000,000
		利益剰余金	(△44,498,522)
投資その他資産	(13,000)	利益準備金	800,000
出資金	13,000	その他利益剰余金	(△45,298,522)
		繰越利益剰余金	△45,298,522
		(うち当期純利益)	(△867,246)
		純資産の部計	△19,498,522
資産の部計	37,992,396	負債・純資産の部計	37,992,396

## 損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 令和 6年10月1日

至 令和 7年9月30日

科 目	金 額	
【売 上 高】		円 52,529,960
温泉浴場	18,778,400	
特産品店	7,526,791	
受託料	9,671,000	
駐車料	10,026,000	
アクティビティ	4,233,115	
その他	2,294,654	
【売上原価】		5,432,897
期首棚卸高	379,134	
仕入高	5,365,231	
合計	5,744,365	
期末棚卸高	311,468	
売上総利益		47,097,063
【販売費及び一般管理費】		47,230,396
営業損失		133,333
【営業外収益】		21,336
受取利息	20,936	
受取配当金	400	
【営業外費用】		544,249
支払利息	544,249	
経常損失		656,246
【特別利益】		0
【特別損失】		0
税引前当期純損失		656,246
法人税等充当額		211,000
当期純損失		867,246

## 販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 令和6年10月1日  
至 令和7年9月30日

科 目	金 額	
		円
給与・手当	15,093,610	
広告宣伝費	377,352	
発送配達費	2,992	
役員報酬	560,000	
法定福利費	1,395,183	
福利厚生費	80,763	
減価償却費	1,719,692	
賃借料	402,632	
修繕費	1,980,878	
事務用消耗品費	107,479	
通信交通費	983,689	
水道光熱費	15,272,144	
租税公課	1,583,600	
会費負担金	505,800	
接待交際費	5,767	
保険料	459,476	
備品・消耗品費	1,507,661	
支払手数料	3,603,452	
車両関係費	157,529	
リース料	526,416	
貸倒償却	3,000	
雑費	901,281	
合 計		47,230,396

## 棚卸資産の計算内訳

株式会社 北前館

令和7年9月30日現在

科 目	金 額	
		円
商 品	311,468	
貯 蔵 品	478,092	
合 計		789,560

## 株主資本等変動計算書

株式会社 北前館

自 令和 6年10月1日

至 令和 7年9月30日

(単位：円)

	株主資本						評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式				株主資本合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他 利益剰余金					
当期首残高	25,000,000			800,000	△44,431,276		△18,631,276		△18,631,276	
当期変動額										
剰余金の内訳科目間の振替										
剰余金の配当										
当期純損失					△867,246		△867,246		△867,246	
当期変動額合計					△867,246		△867,246		△867,246	
当期末残高	25,000,000			800,000	△45,298,522		△19,498,522		△19,498,522	

	利益剰余金の内訳				
	利益準備金	退職給付 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	800,000			△44,431,276	△43,631,276
当期変動額					
剰余金の内訳科目間の振替					
剰余金の配当					
当期純損失				△867,246	△867,246
当期変動額合計				△867,246	△867,246
当期末残高	800,000			△45,298,522	△44,498,522

## 個別注記表

株式会社 北前館

自 令和 6年10月1日  
至 令和 7年9月30日

- 1 この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項に関する注記
  - (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による原価法を採用しています。
  - (2) 固定資産の減価償却方法
    - ア リース資産  
定額法を採用しています。
    - イ 有形固定資産  
定額法又は旧定額法を採用しています。  
なお、一括償却資産については、3年均等償却を採用しています。
    - ウ 無形固定資産  
定額法又は旧定額法を採用しています。
  - (3) 引当金の計上基準
    - ア 貸倒引当金  
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込み額を計上しています。
  - (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。
- 3 貸借対照表等に関する注記
  - (1) 有形固定資産の減価償却累計額 19,519,286 円
- 4 株主資本等変動計算書に関する注記
  - (1) 発行済株式総数 500 株
- 5 一株当たり情報に関する注記
  - (1) 一株当たり純資産額は、△38,997.04 円です。
  - (2) 一株当たり当期純損失は、1,734.49 円です。

# 監査報告書

## 1 監査対象期間（第34期）

自 令和6年10月1日  
至 令和7年9月30日

## 2 監査概要

私監査役は、株式会社北前館の第34期の営業年度における経営状況について、令和7年10月17日代表取締役太田垣健作より提出された貸借対照表、損益計算書及び収支証拠書類、並びにこれらに付帯する関係補助簿について照合精査いたしました。なお、この度の監査において監査場所は竹野北前館、監査立会人は、代表取締役太田垣健作でした。

## 3 監査結果

- (1) 会計全般にわたり、関係帳簿と照合精査した結果、会計帳簿の記載金額と一致し、財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、株式会社北前館の会計状況を正しく表示していると認めます。
- (2) 取締役の職務遂行に関する不正行為、又は定款に違反する事実はないと認めます。

## 4 監査意見

私監査役は、毎月の取締役会に出席し取締役による経営検討執行状況を確認するほか、日頃より従業員の勤務状況等も注視してきました。

今年度は大阪・関西万博や夏の猛暑、酷暑の影響もあり、但馬各所の観光地でも観光客の入込数が伸び悩んだ傾向にあります。また原油、水道光熱費等は高値で推移し、大変厳しい経営となりました。

レストランでは夏季の2か月間、また9月より週末の出店をいただいている地元人気カフェクワールの出店により人の賑わいを取り戻すことができていました。

温泉部門については、ポイントカードや風呂の日の設定など、販売にも工夫を施され、併せて7月末までの好天にも恵まれ、多くの来館者で賑わうことに繋がりましたが、お盆前の天候不良や9月に発生した「レジオネラ属菌」検出による営業停止については、起きてはならない事故の発生と位置づけるとともに、今後の再発防止策をマニュアル化し、信頼回復に努めていただきたいと強く願います。

このようなことから、特産品売上も含め前期を下回る結果でしたが、特に温泉、駐車場部門での売上が前期を大きく下回る結果となり、総売上額は前期の99.7%に留まる結果となりました。

今後も引き続き物価高騰などにより、厳しい経営環境が続くものと見込まれますが、株主や地域の皆様のご理解とご支援を賜りながら、取締役および従業員一同が再び一丸となって、企業価値の向上と持続的な成長に向けて邁進されることを心より期待申し上げます。

令和7年10月17日

監査役 服部 恵山



株式会社 北前館  
代表取締役 太田垣 健作 殿

## 株式会社北前館第35期事業計画及び収支計画

### 1 事業計画

感染症予防対策などを徹底しながら、着実な収益向上を目指して役員、職員一丸となって各部門の事業を展開してまいります。

温泉部門は、早期に営業が再開できるよう市役所に要望するとともに、温泉水の安全管理に万全を期すよう衛生管理マニュアルを徹底し、気持ちよく入浴していただけるよう設備の維持管理に努めます。ポイントカードや風呂の日も継続してまいります。加えて日頃のご愛顧に感謝するため入浴料を半額にする取り組みやカニススキーズには曜日を定めて営業時間を延長します。

特産品部門は、引き続き地元農産物を週2回販売します。また、販売商品を見直し、買い物をしやすいレイアウトを検討します。

アクティビティ部門は、引き続き海上アスレチック事業に関わり、売り上げの確保を図ります。また、ジオカヌーではインストラクターのスキルアップを図り安全基準を遵守して実施できるよう努めます。サイクリング事業は、城崎温泉と連携し、訪日外国人の利用拡大を図ります。

レストラン部門では前期に引き続き、海水浴シーズンを中心に営業を委託し、お客様のニーズに応えるとともに閑散期には引き続きチャレンジショップとして利用いただくこととします。

また2階、3階の会議室は、使用料を使いやすい単価にしました。フィットネスで利用したいとの声もありますので今後、検討します。

訪日外国人等の新たなお客様の利便性を図るとともに、「かぜまちミュージアム」を有効活用して北前船文化の伝承やジオパークの普及を図り、竹野地域の魅力発信の中核施設としての機能を果たしてまいります。

今後ともこの北前館が竹野地域の交流人の核施設となるよう運営して参りますので、株主の皆様を初め、地域の皆様にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 予 定 損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 令和 7年10月1日

至 令和 8年9月30日

科 目	金 額	
(営業損益の部)		千円
【売上高】		57,000
温泉浴場	19,000	
特産品店	10,000	
受託料	9,700	
駐車料	9,500	
アクティビティ	6,000	
その他	2,800	
【売上原価】		6,500
期首棚卸高	311	
仕入高	6,689	
合計	7,000	
期末棚卸高	500	
売上総利益		50,500
【販売費及び一般管理費】		47,951
営業利益		2,549
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		3
受取利息	1	
受取配当金	1	
雑収入	1	
【営業外費用】		552
支払利息	552	
経常利益		2,000

## 販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 令和 7年10月1日

至 令和 8年9月30日

科 目	金 額	
		千円
給 与 ・ 手 当	15,770	
広 告 宣 伝 費	320	
発 送 配 達 費	50	
役 員 報 酬	840	
法 定 福 利 費	1,400	
福 利 厚 生 費	180	
減 価 償 却 費	3,500	
賃 借 料	415	
修 繕 費	500	
事 務 用 消 耗 品 費	90	
通 信 交 通 費	1,070	
水 道 光 熱 費	14,550	
租 税 公 課	2,000	
会 費 負 担 金	600	
接 待 交 際 費	100	
保 険 料	570	
備 品 ・ 消 耗 品 費	1,300	
支 払 手 数 料	3,540	
車 両 関 係 費	100	
リ ー ス 料	354	
雑 費	702	
合 計		47,951